

臨床研修の到達目標

行動目標!

医療人として必要な基本姿勢・態度を学ぶ

- 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立する
- 保健・医療・福祉の方々と協調し、チーム医療を行う
- 患者の問題を把握し、問題対応能力を養う
- 患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行するため安全管理の方策を身に付ける
- 医療の持つ、社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献する

経験目標!

経験すべき診察法・検査・手技

- 基本的な身体診察法 (バイタルサイン・頭頸部の診察など)
- 基本的な臨床検査 (心電図・動脈血ガス分析・超音波検査など)
- 基本的手技 (気道確保・人工呼吸・心マッサージ)

経験すべき症状・病態・疾患

- 頻度の高い症状 (不眠・浮腫・リンパ節腫脹など)
- 緊急を要する症状 (心肺停止・ショック・意識障害など)
- 経験が求められる疾患・病態 (血液・神経・皮膚・運動器・循環器・呼吸器・消化器・腎・泌尿器・妊娠分娩などの全疾患 (88項目) のうち70%以上を経験することが望ましい)

特定の医療現場の経験

- 救急医療の現場を経験すること
- 予防医療の現場を経験すること
- 周産・小児・成人医療の現場を経験すること
- 精神保健・医療の現場を経験すること
- 臨終の立会いを経験すること

発展途上! 新臨床研修制度



江村 正先生

平成16年4月より実施された新しい医師臨床研修制度が始まってまもなく1年。現在研修がどのように行われているのか、卒業臨床研修センター副センター長の江村先生にお話を聞きました。

新制度のポイント

- 1、臨床研修の必修化
- 2、スーパーローテートの導入
- 3、研修医の定員制とマッチングシステムの導入
- 4、研修医の処遇の改善とアルバイトの禁止

卒業臨床研修センターとは?

研修医の労働環境の改善、調整をする部署。他大学の研修センターとの情報交換、研修医全員との個人面接、研修医と各医局との橋渡し、等を行っている。まだ臨床研修制度は始まったばかりなので、随時意見を聞き、制度の改善に取り組んでいる。

新医師臨床研修制度

「医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学および医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻りに努めるものとする」(医師法第一六条の二)に従って行われてきており、研修内容は狭い専門領域に偏りがちで、また、2年間研修を積むことは努力規定だった。しかし、制度は「医師は、免許を受けた後も、2年以上大学の医学部若しくは大学の附属の研究所の付属施設である病院または厚生大臣の指定する病院において、臨床研修を行うように努めるものとする」(医師法第一六条の二)に

佐賀大学マッチングによる施設別決定者内訳 (H16. 12. 22現在)

大学病院	施設	人数
佐賀大学	佐賀大学	47
	九州大学	7
	九州	3
	本州	15
	その他	1
研修指定病院	好生館	3
	嬉野医療センター	1
	九州	20
	関東	6
	関西	3
	その他	2

おりその一部を表に載せる。(左上参照) スーパーローテートでは、1年次に、内科で6ヶ月、外科(一般・消化器外科または胸部外科)3ヶ月、救急部または麻酔・蘇生科3ヶ月、2年目は小児科と産婦人科、合わせて4ヶ月、精神科2ヶ月、地域保健・医療などを1ヶ月行う。数ヶ月では覚えられない手技や検査は限られていて、分かることは少ないという批判も多々あるが、各専門医の道に進む研修医が多く、一方で研修医は労働者と認められず、報酬も不十分なためアルバイト診療が日常化している。このため、研修医の過労死や医療ミスも起こり問題を抱えていた。この様な問題を改善する

ために、アルバイトをしなくてもいいように研修医の生活を保障し、研修に専念できるような方針を打ち出した。平成16年度は、新しい初期臨床研修制度で研修を行っている1年目研修医と、従来の初期臨床研修制度のまま研修を行っている2年目研修医とが混在していて、来年度が終わらないと新しい研修制度の評価は出来ない。研修医が自分を評価したり、指導医を評価するEPOCというシステムも導入されている。臨床研修を義務化した新制度が、良質な医療提供につながるかは、今後の制度評価によってなされるが、今年からの研修制度は大きな医療の改善への一歩になると思う。

新鶴中越地震から3ヶ月が経過した。皆様の中にも親戚、友人などの被災で心労が重なる日々を過ごされた方もいるであろう。10年前の阪神淡路大震災では、近隣のある知事が自分の県(兵庫県)のことは自分たちで対処するべきだと援助要請を拒否し物議をかもした。それはさておきこの年がボランティア元年と言われるように、これを機に被災地への様々な支援が定着してきている。例えば、10年前は簡易トイレが汚く、便座に腰を下ろさないと姿勢が安定しない諸事情のある人は「飲まない、食べない」ことで急場をしのぐしかなかったという。避難所の排泄環境が命に関わることは今回のエコノミークラス症候群の発生を機にトイレを緊急増設したことからも容易に推測できよう。今回は震災直後からトイレ掃除を専門に担当したボランティアが活躍している。

また、改めて廃用症候群が注目を浴びた。被災後の集団生活で生活が不活発になったり、あるいは本人のつたない動きよりも介助を優先し不活発状態を作り出していることも多かった。効率を優先した援助を受けてきたことが、自分でできなくなると被災した自宅を暮らす高齢者もいた。もちろん避難所では高齢者が自分で歩けるようトイレに近い場所を確保するなどの配慮があったと聞く。食べる、排泄する、動くことで誰かの援助を必要とするとき、その支援の質が、生命やその後の人生に大きく影響することを改めて認識させられた。(内川)

学園祭を終えて

第26回 むつころう祭実行委員長



園田 正樹

一生忘れることのない思い出の出たというのが誰の原口さんという大きな存在から伝統という重みのあるバトンを受け取り、訳も分からずに走ってきた。そして、なんとか最後まで走りきることができた。

学園祭

学園祭に向けて

第27回 むつころう祭実行委員長



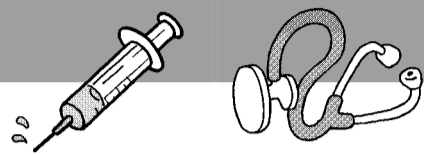
伊藤孝太郎

多くの人の支えがあった。最後のまでやりきることができた。今年のテーマの『走覇』が達成できた。そのことが、すごくうれしい。新しいことにたくさん挑戦できたことがうれしい。学祭に来てくれたみんなの笑顔がうれしかった。そして、一緒にやってくれた仲間がいてくれたことがなによりもうれしかった。笑った顔、疲れた顔、頑張った顔、寝不足の顔、きつさにじっと耐えている顔、そんな人を気遣おうとする顔、不満を言った顔、うれしそうに顔を、泣き顔……いろいろな顔を学祭は作る。何年も続いてきたこの学祭は、これからもいろいろな顔を作っていくんだと思う。学祭を運営する立場として、先輩が自分たちにしてきたことをしていけたらと思う。あなたも学祭をカタチづくる一つの顔として、これから学祭に積極的に関わっていただけたいと思います。

毎年変わっていますが、むつころう祭は日々走り続けています。受け継いだ伝統とこれから踏み出す新しい一歩との調和による成功を試行錯誤しながらも、どんどん挑戦していくという姿勢は崩さないう、日々積み重ねています。来て頂いたすべての方に楽しんでもらえるよう、そして学生も楽しんで学祭を盛り上げていけるよう学祭実行委員はがんばっています。食べる、排泄する、動くことで誰かの援助を必要とするとき、その支援の質が、生命やその後の人生に大きく影響することを改めて認識させられた。(内川)



海外 病院研修



ハワイ臨床実習報告記

～なんて過酷な家庭医実習～

医学科6年 幅 千里

1. 経緯

2004年5月31日から6月25日にかけて4週間、米国ハワイにおける臨床実習のプログラムに同じく医学科6年の吉田和樹君とともに参加しました。このプログラムは、ハワイ大学John A. Burns School of Medicine, Department of International Health and Medicineが主催しているものです。全国の学生が参加しており、私の前の期間には昭和医科大学の2名が実習し、同期には東海大の1名、また私の後には、慶應大学と日本医大の学生計3



5/29(土)、30(日) ホノルル到着
Kaukani(実習先病院と滞在先アパートがある町)に行く。観光などして過ごす。
5/31(月)～6/4(金) 第1週目

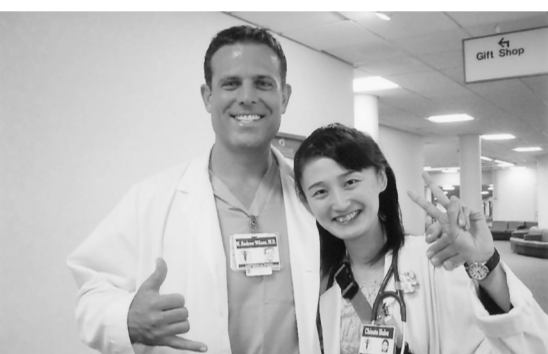
(月) Kaukani Medical Center (ハワイ大学医学部の教育関連病院)でオリエンテーション、身体診察のトレーニングを受ける。
(火) オリエンテーション、ICU Round(回診)などに参加する。
(水) 身体診察を30分間模擬患者で行うテストを受ける。
(木) Oncology Round, ICU Round, ER実習をする。ハワイ大のスピーチ学の先生の講義(症例プレゼンテーションの実践練習、毎週1回)を受ける。

(金) 問診・身体診察を1時間模擬患者で行い、評価者にプレゼンするテストを受ける。
6/7(月)～6/11(金) 第2週目
6/14(月)～6/18(金) 第3週目
Kaukani Medical Centerの内科チームに入って臨床実習を行う。

6/21(月)～6/25(金) 第4週目
家庭医のクリニックで実習する。
6/26(土) 帰国

3. 家庭医クリニックの実習について

実習4週間のうち最終週は、家庭医のクリニックでの実習でした。とても印象深かったのが、Dr.Tはその名前前から日系米国人かと思いきや、ハワイでは患者さんにも医師にも日本人の名前で日系米国人の人が実在に多いのです。沖繩出身で高校卒業後渡米してハワイ大学医学部を卒業されたそうでした。剣道の達人で宮本武蔵に傾倒されている、とても威勢のいい先生です。実習前に配布されたマニュアルには「Dojo(道場) サバイバル・マニュアル」と記されていました。また、このクリニックにはハワイ大学の医学部の学生も学校のカリキュラムとして



家庭医療の実習に来ます。私は、クリニック実習の前の2週間にしていたKaukani病院での内科チームでの実習中、ハワイ大出身のレジデントたちに「あそこは大変だよ。」Dr.TはBuster Buster(忙しがりやさん)だから、「おどされたり、からかわれられた。ですから、いったいどんな実習になるのだろうか?」と期待と不安を抱いていました。

家庭医療の実習に来ます。私は、クリニック実習の前の2週間にしていたKaukani病院での内科チームでの実習中、ハワイ大出身のレジデントたちに「あそこは大変だよ。」Dr.TはBuster Buster(忙しがりやさん)だから、「おどされたり、からかわれられた。ですから、いったいどんな実習になるのだろうか?」と期待と不安を抱いていました。

患者は週末に呼吸困難を訴えて入院してきた高齢の女性で、肺腫の全身転移があり、もともと状態はあまり良くなかった。呼吸困難の原因は右肺の肺炎であることが判明したが、末期がんであることを考慮して、蘇生に対する意思表示である「コードステータス」は、いつかの延命行為を希望しない「ノーコード」の状態になっていた。クアキニ病院での実習中に経験し、非常に印象に残ったこの一症例を通して、自分の経験を振り返ってみたいと思う。



ファイナルアンサー

コードステータスという選択

医学科6年 吉田 和樹

患者は週末に呼吸困難を訴えて入院してきた高齢の女性で、肺腫の全身転移があり、もともと状態はあまり良くなかった。呼吸困難の原因は右肺の肺炎であることが判明したが、末期がんであることを考慮して、蘇生に対する意思表示である「コードステータス」は、いつかの延命行為を希望しない「ノーコード」の状態になっていた。クアキニ病院での実習中に経験し、非常に印象に残ったこの一症例を通して、自分の経験を振り返ってみたいと思う。

患者は週末に呼吸困難を訴えて入院してきた高齢の女性で、肺腫の全身転移があり、もともと状態はあまり良くなかった。呼吸困難の原因は右肺の肺炎であることが判明したが、末期がんであることを考慮して、蘇生に対する意思表示である「コードステータス」は、いつかの延命行為を希望しない「ノーコード」の状態になっていた。クアキニ病院での実習中に経験し、非常に印象に残ったこの一症例を通して、自分の経験を振り返ってみたいと思う。

患者は週末に呼吸困難を訴えて入院してきた高齢の女性で、肺腫の全身転移があり、もともと状態はあまり良くなかった。呼吸困難の原因は右肺の肺炎であることが判明したが、末期がんであることを考慮して、蘇生に対する意思表示である「コードステータス」は、いつかの延命行為を希望しない「ノーコード」の状態になっていた。クアキニ病院での実習中に経験し、非常に印象に残ったこの一症例を通して、自分の経験を振り返ってみたいと思う。

毎朝6時半からDr.Tが回診するので、それまでに私たちが学生として「Round」：診察をして全身体態や検査値の変化などを把握し、カルテを完全に書きこむ。患者数が11～15人になるので、一緒に回る吉田君と担当患

者に分けました。慣れないうちは朝の3時半や4時から診察をさせて頂いたのは迷惑をかけたかと思えます。朝の回診後は、車で移動し、クリニックで外来実習です。学生も診察をしたり、カルテを書いたりすることができました。急性期の患者さんよりも、長年このクリニックで診てもらっている、というような中高年の患者さんの Regular Follow-up(健康チェック)が多かったです。それだけに、どの診察シーンにおいても、患者さんの「このDr.を信頼している」という心情にあふれた情景を目の当たりにすることができました。午後の外来が終了すると、再度Kaukaniに回診に行きます。

これは一日の実習終了ですが、夜は先生から何か宿題が出されます。例として、ERで入院したDr.Tの新患がいた場合、問診をとって最後にディクテーションできるようにまとめ、などです(ディクテーションとは、患者さんの一連の情報に主訴・現病歴・システムレビューなどを口述録音すると、病院内の専門部門がコンピュータに打ち直してカルテにはさめる文字情報にしてくれるシステム)。

そして、深夜までカンファレンスルームでその課題に取り組むことになりました。わずかな時間アパートに帰りますが、またまた朝が来て、Kaukaniに学生回診に行き……この繰り返しです。この1週間は本当に朝早く、私は眠そうにしていました。移動の車内で

いつも睡眠。でも、この家庭医クリニックでの実習が過酷であった。最も充実していました。

4. 最後に
実習2・3週目に中規模病院で、最終週には家庭医のクリニックで実習に密着したレベルでの米国の医療(といってもハワイ限定ですが)を少しは学ぶことができたので、と思っています。

また、内科チームに入って実習したことで、サーフィンが年中できるからハワイ大医学部にしたいと言ったサーファー医学生や、娘がアイドルを

している家族自慢の女性レジデント、孤島に滞在してサバイバル能力を競う人気TV番組出演のための休暇をどうやって取るか悩むマッチョな外科医、日本で10年ほど臨床をされた後USMLEに合格された人男性医師……など、個性あふれる多くの医師・医学生と出会うことができました。患者さんも含めいろいろな方と交流することで、日本での日常の中からは決して得ることのできない素敵な経験ができたと思っています。

PEOPLE NOW



分子生命科学講座
池田義孝教授略歴
愛知県出身
H元年慈恵医大卒業
H5年阪大院博士課程修了、
同年阪大助手、同年 Cornell
大学ポスドク(博士研究
員)、H7年福井医大助手、
H9年阪大助手、H14年山
形大助教授、を経てH16年
5月佐賀大学に着任

※先生の専門について教
えてください

※医学部を出て研究に進
んだのはなぜですか？

もともと生化学をやっ
ており、専門は酵素化学
と糖鎖生物学です。糖鎖
すなわち糖鎖の機能や生
合成のされ方が研究内容
です。糖は10個くらいか
ら多いものでは100個
くらいになってタンパ
クに付けられます。この
作業はゴルジ体で行われ
るのですが、酵素がどの
ように糖鎖をつけていく
か、まだよくわかってい
ません。ペルトコンベア
式に酵素が並んでいて一
つ一つ糖をつけていくと
一般的に思われています
が、詳細は不明なので今
後それらを解明できたら

教授 退任



地域医療科学教育研究
末崎 幸生
先生

九州大学理学部物理学卒業、同博
士課程終了
昭和53年 佐賀医科大学教授
昭和55-62年 ユタ大学麻酔科客員
教授

開学当初から勤務をさせて
もらい、優秀な医学科学生諸
君、真面目な看護学科学学生
さんとの授業や交流は楽しく、
生物物理の研究も自由にやら
せてもらいました。
2000年には、佐賀医大
で最初で最後の国際集会所主
催できました。
これから大学も大変ですが、
教育も学問も王道はありませ
ん。振り回されて奇をてらわ
ず、どこに出ても通用する人
材となり、業績を挙げる努力
を続けてください。



病因病態科学講座
小橋 修
先生

九州大学医学部卒業
UCLA留學
平成元年 佐賀医科大学教授

平成元年の赴任時、松浦学
長に「研究はいいから教育に
力を」に就いて種々工夫して
きました。学生諸君、「限りな
くローカルであることが、世
界に通ず」という先人の言葉
を信じて研鑽されることを期
待しています。



病因病態科学講座
杉原 甫
先生

長崎大学医学部卒業、ドイツ・フラ
イブルグ大学：フンボルト奨学生
昭和54年4月より病因病態科学(旧
病理学)教授、現在、病因病理部長、
総合分析実験センター長を兼任

赴任後、何もかもうまくい
かなくて気落ちして教室の床
に目を落とすと、カヤネズミ
が駆け抜けた。この世界最小
の哺乳動物の観察から、脂肪
細胞の研究を始めて、ヒト肥
満や、癌細胞等、人体病理学を
学んできた。美しい田園に囲
まれて、多くの友人、学生諸君
と共に学ぶことができたこと
を幸せに感じている。



外科学講座
真崎善二郎
先生

九州大学医学部卒業 クリイブランド
クリニック財団リサーチフェロー
昭和55年4月 佐賀医科大学助教授
昭和59年2月 同教授

佐賀医科大学で仕事ができてよ
かったと思います。
(1) 外科学大講座のなかで、各科の
壁が皆無に近く、非常に良い連携
プレイで診療できました。他大学
にない特徴です。
(2) 泌尿器科はいつも人員不足で
ピーピー云っていましたが、自分
達でできる最高の診療を目指して
診療し、かなり高レベルの診療が
できたと思っています。
(3) 大学は診療のほかに研究、教育
も大事なことは言うまでもありま
せんが、この診療については患者
中心の診療を目指して努力する姿
勢が佐賀医大の大きい特徴と思
います。このことに大きい誇りを
持つてよいことを強調します。



薬剤部
森 昌斗
先生

長崎大学薬学部卒業
薬学博士(九州大学)
昭和56年4月 佐賀医科大学副薬剤
部長
平成8年4月 同教授

最近の医療過誤では、その
6割が医薬品に関係していま
す。類似薬品名の勘違い、同
一注射薬での点滴用、静注用
の取り間違い、制癌剤の投与
量の間違い、重篤な薬物相互
作用の発現などです。医療で
薬物療法は不可欠であること
から、有害作用の回避のため
に薬物への知識を深めること
を期待します。

※研究者になりたいと言
う学生がいたら

100人学生がいたら、
そのうちの5、6人は基
礎研究に興味があるのだ
と思います。でも実際
研究の世界に飛び込むに
は興味だけでなく、飛び
降りる勇気でも言いま
すか、何かもう一押し必
要になるようです。が、
正直言うとお勧めしにく
い状況になってきていま
す。自然科学系博士課程
の学生は年間1万人くら
いいるのに、ポジション
は限られていてあぶれる
可能性も低くはないので
研究をやるのはいいよと
は言えないのです。でも、
もし本当に研究に行きた
いと言う人がいたら、大
きな所に行くのがいいと
アドバイスします。比較
的少人数のところでは学
生を大事にしてくれる良
さがあります。大人数
を抱えている研究室は一
人にいちいち世話を焼い
てくれません。だけど、
そこでもまれておくと後
が楽な気がします。若い

※今後の目標は？

人のやらないことをや
る、それが目標です。あ
る程度研究を続けている
と、よく研究されている
テーマやテクニックはわ
かってきます。そんな中
で独自のことをやらない
といけません。とても人
の思いつかないような、
おかしなことをやりたい
のですが、僕は根が真面
目だからついついちゃん
としたことをやってしま
うのが難点です。研究と
芸術は似ているところが
あって、テクニックであ
る程度こなせます。本当
に才能のある芸術家が限
られているように、研究
者も多くは誰もがやるよ
うな当たり前のことしか
できません。それに、具
体化・証明が可能で、人
が思いつかないことなん
てめったに無いんですよ
ね。ただ、可能性は限ら
れていますが、ゼロじゃ
ない。何かユニークで素
晴らしいものを発見でき
る瞬間が自分にも来るか
もしれません。

※学生に対してコメント
をお願いします

勉強してください。自
勉強してください。自
分としては採点の時に悩
みたくないのです、すんな
り通ってほしいです。教
育や医療の制度も年々変
わるし、早く医者になつ
たほうが得だと思えます。
もし時間が欲しいなら国
試後に1年就職を遅らせ
て海外をぶらぶらしたり
すれば良いです。国立大
学の学生は税金で医者に
なるのだから、その分
しっかりと勉強してくれな
いと困ります。学生の学
費の0.000...1%
くらいは僕のお金ですか
ら。どこの大学にも、本
当に医者になりたいの？
というような学生はいま
さん入ってきているわけ
ですが、もしかしたらそ
の人の代わりに落ちた人
のほうに大学に入ってく
ら勉強してくれたかもしれ
ません。そういうこと
がないように、せっかくな
いので、医学部に来たのだから、
勉強してください。

作家 驚沢 萌



My Way... 第二回



「My Way」前回は
連載が始まったこの欄
では、粗筆ながらも私が
尊敬する人物について紹
介していきたいと思う。
今回は女性作家驚沢萌氏
を紹介したい。
驚沢氏の作品は自身の
過去の経験、境遇に基づ
いたものが多い。小説や
エッセイを通して世間に
訴えたいものが大き過ぎ
たのか、又は家族に対し
ての罪を償おうとして書
いたのかとも感じられる。
私が驚沢氏の作品と初
めて出会ったのは高校生
の時だった。「帰れぬ
人々」というその小説は
当時、家族や故郷という
自分の生まれた場所につ
いて考え始めていた私に
とって考える術を導いて
くれるものとなった。
この小説の中では、登
場するほとんどの人物が
帰るべき家がないと感じ
ている。それぞれの人物
が家の存在をどのように
捉えているか、例えば外
観が過去の誇れる生活レ
ベルと似たものを求め、
守り続けようとするのか
また、愛する人がいるか
らこそ、そこを帰るべき
家とするのか、様々であ
る。主人公は驚沢氏と似
た境遇であり、過去に住
んでいた場所、家に対し
ての憧れを捨てられずに
いつか堂々とした想いで
戻ってくるという秘めた
決心を持っている。今は

実際にそうした場所がな
くとも、想いという家の
在り方である。そして、
それらの様々な家に対す
る想いの底には「家」と
は人に完璧な安心を与え
る場所、帰りたいと思え
る場所であるという共通
の心念があるのだ。私は
小説の中の人物と似た状
況であったわけではない
が、帰る場所とは自分に
とってどこなのだろうか
その場所との関わり方を
どうしていきたいか、と
はつきりした自問として
考えるようになった。「帰
れぬ人々」という小説に
よって自身の「家」に
対して考える指標を示さ
れ、帰る場所という存在
の大きさを強く感じさせ
られたのである。
また、驚沢氏の作品に
は在日韓国人が登場する
ものが多くある。日本名
を使うこと、在日韓国人
に対する何気ない言葉の
中にある差別意識などが
作品の中に組み込まれて
いる。
驚沢氏の祖母は在日韓
国人であった。この事実
を祖母は隠し通していた
のであるが、驚沢氏は小
説を書くことを通して知
り、そして書くことによ
って世間に暴露すること
となる。自分流れて
いる四分の一の血の重み
を驚沢氏がどのように受
け止めようとして執った
行動だったのかは私には
計り知れないが、この出
来事は驚沢氏の家族に
とって重大なこととなる。
祖母が長い人生の中で守
り続けたもの(在日韓
人であることを家族にも
隠していたこと)を壊し
たのだ、という家族の予
想以上の批判により自己
嫌悪と罪悪感を感じ、
とって消えないものとな
った。「なぜ、祖母が隠
し続けなければならな
かったのか」ということ
が世間に問うていかな
ければならない」という
都合のよい自己解決で済
むものではなかったのだ。
その後、驚沢氏は韓国へ
留学しており、在日韓
人との交流や活動も盛ん
であった。そこで学ぼう
とする驚沢氏の自分の境
遇に対する態度に私は感
服する。しかし、それ
も驚沢氏自身が自分の行
動や結果に対して満足す
ることはなかったように
思える。そう驚沢氏を駆
り立てたものは何だった
のか。驚沢氏は自身でそ
の原動力を悔しさと表現
している。
昨年四月、驚沢氏の突
然の逝去に驚き悲しみ、
これから驚沢氏の新しい
作品に出会えることがで
きないことを大変残念に
思う。私にとって人生を
生き抜くという言葉が相
応しい驚沢氏の生き方か
らまだまだ学びたいこと
が沢山ある。(岸川)

クーポンを頂きました。

こつがうまいよ 医大生

串源(くしげん)



このコーナーでは筆者が独自の偏見でおいしいと思うお店を紹介したいと思います。今回は「串源(くしげん)」さんに取材に行きました。皆さんもご存知の通り、鍋島キャンパスの西門の



もともと焼き鳥屋さんなので、その名前をのれん分けしてもらったそうです。鍋島店は江北店と違って、居酒屋という感じなので串物以外のメニューも充実しています。店長お勧めの料理は、煮物、刺身、レバ刺(900円)、生たこキノコのバジルマヨネーズソース(650円)、せせり(鳥の首肉)焼き(450円)で、どれもとてもおいしいです。黒豚の各種料理も充実しています。店内には「本日のおすすりメニュー」があり、その日ごとの新鮮な料理が食べ

られます。旬の物が食べられるって嬉しいですよ。ね！「お店が混んでいないときは、リクエストすればメニューにない料理も出したいですね。」ということでした。

お酒の種類も豊富で、芋焼酎も各種取り揃えられています。女性に人気なのが、海芋焼酎、もぐら芋焼酎。キープもできるので安心です。チーフのお勧めは岐阜県の日本酒・蘭奢侍(らんじょたい)で、飲んだらほまつちやうそうです。カクテルも20種類くらいあり、女性が行きやすいお店だなあという印象を受けました。週末は店長のお友達のパーティンさんがいらつしやるので、オリジナルカクテルも飲みます。ちなみに、日替わ

りのケーキもありますよ！
スタッフの皆さんから医学部生に一言「ぜひ飲みに来て暴れてくださいコンパ承ります。」
最後に、バイト募集(ホールスタッフ)のお知らせです。明るく楽しくて、人望のあるあなた！男女は問いませんのでやる気のある方はお店までご連絡ください。(田代・月田)



定休日 なし
営業時間
17:00~23:30(OS)
24:00まで
ご予約・お問い合わせ
TEL 0952-3310044
佐賀市鍋島5丁目4-12

旅いこちすいろうく【1】

南の島の牛の背中

誰も一度はこの光景をテレビや写真で見たことがあると思う。たくさんの人を荷台に載せて、青い空の下、のんびりと牛車(ウシクルマ)が海を渡る姿。実際にこの光景はヤマネコで有名な西表島の景色だ。いつか私も牛で海を渡りたい。あれこそ私の「島気分」に欠かせないと思う思い込み。それだけで十分な理由だった。西表島から牛に乗って由布島という島に向かうのだが由布島に何かがあるのかなんて知ったことではない。あくまで私の中では牛車は「交通手段」ではなく「目的」だったのだ。



誰しも一度はこの光景をテレビや写真で見たことがあると思う。たくさんの人を荷台に載せて、青い空の下、のんびりと牛車(ウシクルマ)が海を渡る姿。実際にこの光景はヤマネコで有名な西表島の景色だ。いつか私も牛で海を渡りたい。あれこそ私の「島気分」に欠かせないと思う思い込み。それだけで十分な理由だった。西表島から牛に乗って由布島という島に向かうのだが由布島に何かがあるのかなんて知ったことではない。あくまで私の中では牛車は「交通手段」ではなく「目的」だったのだ。

乗りに到着すると、



乗りに到着すると、

乗りに到着すると、

部活動紹介

卓球部

私たち卓球部は部員15人で、とてもアットホームな部活です。最近、卓球人気なのでそれに便乗して!?活発に楽しく活動しています。練習は毎週水(13:00~16:00)、金、土(16:30~19:00)、体育館で行っています。初心者から経験者まで部員のレベルは幅広く、それぞれの目的に沿って練習しています。成績は、2004年の九山において、男子が準優勝、女子も三位という結果です。



だから経験者にも満足いく練習ができると思っています。また、初心者に対しても経験者が教えたりしているので初心者の人にもすぐに慣れることができます。こう聞くと卓球部はとて大変と思うかもしれませんが、実際は、のんびりと活動をしてい

ます。今年は久しぶりに西医体にも参加しました。来年も参加して、部活をより活性化したいと考えています。今年是一年生がたくさん入部したので、これからまた皆で仲良く部活を盛り上げていきます。最後に卓球部は年中社員募集中です。興味のある方は今からでも遅くないので、ぜひ一度体育館に足を運んでみてくださ。一緒に卓球を楽しまししょう☆ キャプテン：北村(医2年)

ACLS

救急医療という、医師として当然知っておかなければならない知識を学生時代から学ぶために結



成された団体です。現在の部員数は約30名で、主に各地で開催されるワークショップ(全て実技形式)に参加する形で活動しています。佐賀では一昨年の12月と昨年の7月にワークショップを開催しました。モチベーションはチーム医療の大切さを体感してもらうことです。参加はもちろん運営も全て学生で行っているため、非常に垣根が低く、大学との交流も盛んです。救急に興味がない人でも参加することで興味が出るし、また救急に限らず医師として大切なことを学べることも間違いありません。次回は2月に岡山で、4月に大阪で、そして5月には佐賀で開催する予定なので興味のある方は4年(来年度5年)の藤岡まで一報を。参加できる人数に制限があるので早めのご連絡をお願いします。☆代表：藤岡丈士(医4年) (写真は12月に島根で開催されたワークショップにて) (吉田・田中)

クリスマス

★12/17★

合唱部では毎年クリスマスの時期にキャロリングを行っています。これは、賛美歌を歌いながらキャンドルを持って病院内を回るというものです。入院されている患者さんに少しでも楽しんでいただけたらと思います。この日のために合唱部以外からも参加者を募り、練習してきました。貴重な経験ができ、病院や学生課の方など、ご協力いただいた様々な方には大変感謝しております。興味があると思われたら、ぜひ次回一緒に歌ってみませんか？ (合唱部より)



☆12/22☆

病院の外来ロビーにおいて、合唱部、室内楽部、鍋島中学校合唱部によるコンサートが開催されました。涙を拭う患者さんもいるほどとても感動的なコンサートになりました。入院患者さんたちは楽しいひと時を過ごされたようで、大変喜んでくれました。少しでも患者さんに喜んでいただけることをこれからも企画していきたいと思っています。(SMILEより)



室内楽部は今回クリスマスの定番曲である We Wish You A Merry Christmas と Sleigh Ride (そりすべり)、そして映画タイタニックの主題歌である My Heart Will Go On の3曲を演奏しました。学祭が終わってから日が浅かったのですが、個々が努力して積極的に合奏に加わったことで質が向上し、特に1年生の努力と上達ぶりには感心するばかりでした。また、今回特別ゲストとして顧問である小橋教授にご参加いただき、大人数での合奏ができました。

音楽を演奏する人にとって、人前で演奏することは何よりの上達の機会だと思います。今回の良かった点・悪かった点が次に生かせるよう、そして、私たちの演奏を聴いてくださる方にもっと良い音楽が提供できるよう、部員みんなで努力してゆこうと思います。(室内楽部より) (鶴城)

新聞編集委員

植原恒彦教授(編集委員長)
池田豊子教授、内川洋子助教授、尾崎若太助教授
藤井可、安達正時、中司貴大、吉田雄一(医6)岸川優紀、興裕雅代、齊郷智恵美、酒井亜輝子、田中恵、吉田拓哉(医4)河田康祐、田代直規、月田彩子、鶴城雪子(医3)蘭広子、江口香織、江崎香菜子、熊本美子、近藤瑠美、山口紀子(看3)、大家千佳(医2)、小池このみ(医1)
棚町豊二(フォトセンター)
山口一利、坂井光太郎(総務学事課職員)
要望などの連絡先
総務学事課学務係 坂井
sakaik2@post.saga-med.ac.jp

編集後記

受験の季節、12、15、18歳、それぞれの春を指して難関に挑む厳冬のころ。医師、看護師としてまもなく社会に巣立つて行く医学科6年生、看護学科4年生も国家試験に挑みます。13号に続き、今回も海外研修の記事を

お送りしますが、学生諸君の確かな成長を目の当たりにしながら、私は遠い青春を追悔し…。卒業生の皆さん、悔いなき青春を過ごして下さい。(植原)